



ルーエハイム デイ通信

# あゆみ

平成23年 3月発行

第 20 号

社会福祉法人 博愛会

デイサービスセンター ルーエハイム



花冷えの折柄、皆様いかがお過ごしでしょうか。日ごとに彼岸桜もほころぶ今日このごろとなってまいりましたが、先日の東北・関東大震災で被災に会われた方々のことを思うと、浮き足立ってもいられません。デイサービスのご利用者様も心痛め、一刻も早い復興を願っていらっしゃいます。暦の上では春真っ盛りですが、寒の戻りもあって現地では寒さも幾ばかりかと心配されます。そのような中でもデイサービスのご利用者様はお元気にお過ごしいただいております。どうぞご一読下さい。

## \* 月に1度おやつ作りをしています \* 2月24日(木) 黒糖ちんすこう作り

前回悔しい思いをした“黒糖ちんすこう”。先月お約束したとおり今回もう一度皆様で挑戦しました。

今回は事前に焼く温度・時間を念入りにチェック!!自信を持って臨みました。皆様の強い気持ちと、チームワークのおかげで、きつね色のおいしそうなおやつが出来上がりました。

「お店で売っとるのと同じくらいおいしいわ!」「また家で作ってみたいなあ」と出来上がりにとっても喜んでみえました。  
☆☆☆ 大成功です ☆☆☆



## \* 毎月10日はトモの日! \* 3月10日(月) 春の息吹を感じましょう

- ☆ 洋風ちらし寿司
- ☆ 天ぷら
- ☆ 菜の花のゴマ和え
- ☆ しらうおのすまし汁



いちごムース

### ☆ 一口メモ ☆

春の訪れを告げる野菜の「菜の花」。葉の鮮やかな若草色と蕾からのぞく黄色の花、その色合いが春を感じさせますよね。

菜の花はアブラナ科の緑黄色野菜で、ビタミンB1・B2・C、鉄、カルシウム、カリウム、葉酸、食物繊維などの豊富な栄養素をバランスよく含んでいます。栄養価の高い緑黄色野菜の代表“ほうれん草”に負けず劣らずの優秀な食品です。アブラナ科の野菜は辛味成分を含んでいることも特徴ですね。

サービス利用・デイ通信へのお問い合わせは

〒510-0266 鈴鹿市長法寺町字権現 763

TEL 059-372-3811(代) fax 059-372-3814

E-mail [ruheheim@circus.ocn.ne.jp](mailto:ruheheim@circus.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.ruheheim.com>

※ ホームページ スタッフブログの“ルーエハイム通い”では、デイサービスセンターの行事等を紹介しています。





## \* デイサービス ひな祭り行事 \*

3月2日(水)に職員による歌謡ショーを開きました。職員がご覧のような格好をして、各自で何曲か持ち歌を担当し、自慢(?)のノドを披露しました(実は歌手のCDに合わせてクチパクでした)。ご利用様は「あんな



こんなに歌上手いとは知らんだなあ」「ここ辞めてプロで食べていけるなあ」と職員の身振り・手振りに感動いただき、お褒めを頂いた職員はちょっと複雑な気持ちになりました。



☆ デイサービスの役者が大集合 ☆

## ♪ デイサービスセンターでは音楽療法を行なっています(週1回隔週の水・金曜日) ♪

### ☆ 卒業証書授与 ☆

卒業式のシーズンになりました。皆様のお近くにも今年卒業される方がいらっしゃる方みえるのではないのでしょうか?



デイサービスでは、その様な季節を体感して頂こうと、卒業証書授与式を真似て、音楽療法士が利用者様のお名前を一人ずつお呼びし、返事をして頂きました。

「はい!」と返事をして頂いた声には、卒業式の緊張感が溢れ、また懐かしさで少し緩んだ表情がとても印象的でした。

その後に歌唱した「揚げば尊し」では、懐かしい気持ちがこみ上げ、涙される方もみえました。



by 音楽療法士 A・K

## ◆ デイサービスから ◆

デイサービスでは日曜日以外、月曜日から土曜日まで(祝日も)、毎日送迎の車を走らせています。鈴鹿・亀山・津にお住まいの方で西は安知本町、山下町、北は太森町、岡田町、東は磯山町、そして南は芸濃町、河芸町までをおおよその範囲として、お迎え・お送りをさせていただきます。

この範囲以外にお住まいの方でもどうぞお気軽にお問い合わせ下さい。可能な限り、ご要望に応じさせていただきます。お問い合わせは、ご本人様でもご家族様でも結構です。お待ちしております。

電話番号 059-372-3811(代) 担当 <sup>なす</sup>那須

七十二候の「桃始笑」(桃の花が咲き始める)の三月十一日に大震災が起こりました。幸いにも私たちの住むこの地はたいした影響がなかったものの、東北・関東地方の甚大な被害を報道で見るに付け、胸が痛みます。本来なら進入学の準備に忙しいこの時期も、学校は潰れていたり避難所になってしまっています。これから復興までの長い道のりは私たちも共に歩いていかななくてはなりません。私たちにできることを考え、辛抱強く「春」を待とうではありませんか。 那須・佐々木